



地域研究コンソーシアム オンデマンド・セミナー

企画責任者 石原バージ・後藤美樹(フィリピン人移住者センター(FMC))

"HALIKA, USAP TAYO"

Parenting "Estranghero sa Loob ng Pamilya"

「トランスナショナルな子どもたちの教育を考える：
日本で子どもを育てるフィリピンのお母さんのためのワークショップ」

2013年2月17日 於つながれっとNAGOYA



プログラム

- ・ファシリテーターのお話
「日本の教育に関する展望」
ネストール・プノ(ELCC(国際子ども学校)スタッフ)
- 「外国人児童の現状」
川口祐有子(NPOまなびや@KYUBAN代表)
- 「学校でのフィリピン人児童生徒の現状—大阪・兵庫の事例から」
矢元貴美(大阪大学人間科学研究科博士後期課程)
- ・愛知のフィリピンのお母さんからのお話
- ・「子育て・教育について語り合おう！」ワークショップ

1. 目指したこと

- ・様々な背景を持ったフィリピン人お母さんが、情報を共有したり、日頃の悩みを語り合う。
- ・先輩お母さんや実践的活動を行う方の様々な情報から問題解決のためのヒントを得る。

2. 参加者 計31名(ファシリテーターやオブザーバー等を含む)

3. 意義

- ・フィリピン人お母さんと日本人支援者が互いに情報や思いを共有できた。
- ・立場の異なる参加者が問題解決に向けて協働していこうという認識を持つことができた。
- ・研究機関との連携開催により、社会への情報発信や問題提起を行うことへの力づけになった。